



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL <http://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田邊 浩明 TEL 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	5,950	6.8	162	23.9	161	24.5	113	42.8
28年12月期第1四半期	5,571	2.9	131	△39.0	130	△39.3	79	△39.4

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 113百万円 (43.4%) 28年12月期第1四半期 79百万円 (△39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	26.85	25.97
28年12月期第1四半期	18.62	17.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	7,136	2,466	33.4	565.59
28年12月期	5,799	2,383	39.8	547.58

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 2,384百万円 28年12月期 2,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期（予想）	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,200	11.3	150	14.3	145	12.3	100	33.9	23.72
通期	21,800	13.2	250	29.6	245	28.7	150	44.0	35.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期 1 Q	4,282,800株	28年12月期	4,280,600株
② 期末自己株式数	29年12月期 1 Q	66,188株	28年12月期	66,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期 1 Q	4,215,879株	28年12月期 1 Q	4,257,022株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善、雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方、中国をはじめとする新興国の景気下振れ、英国のEU離脱問題等を受け、世界経済は、不確実性の高まりなど先行きに不透明な要素もみられます。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、スマートフォンやタブレットの普及により国内パソコン出荷台数は減少傾向にあるものの個人向け市場に限定され、法人向けパソコン市場においての出荷台数は小幅ながら増加傾向で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、強みである在庫戦略を積極的に展開し、価格優位性を生かした在庫商品の販売に注力するなど、粗利の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,950,929千円（前年同四半期比6.8%増）、経常利益は161,915千円（前年同四半期比24.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は113,208千円（前年同四半期比42.8%増）となりました。

各セグメント別の営業の概況は次のとおりであります。

① 情報機器販売事業

法人向けコンピュータ市場においては、Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動減からの回復基調がみられ、パソコンの出荷台数は増加傾向で推移いたしました。当社グループにおけるパソコン販売台数においても予定通り堅調に推移する中、独自の在庫販売戦略等に注力するなど、粗利の確保に努めてまいりました。その結果、売上高は4,030,886千円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は129,345千円（前年同四半期比29.8%増）となりました。

② アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引先の拡大が順調に推移し、売上高は1,916,159千円（前年同四半期比17.5%増）、営業利益は37,800千円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

③ その他

当社グループは、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を2施設運営しております。児童・生徒の発達支援に関するサービスの提供を行っており、計画通りに推移しております。その結果、売上高は3,883千円、営業損失は4,811千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、6,719,836千円（前連結会計年度末は5,480,389千円）となり、1,239,447千円増加いたしました。売掛金が増加したことが大きな要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、416,399千円（前連結会計年度末は318,839千円）となり、97,560千円増加いたしました。無形固定資産が増加したことが大きな要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、4,360,448千円（前連結会計年度末は3,092,430千円）となり、1,268,018千円増加いたしました。買掛金が増加したことが大きな要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、309,331千円（前連結会計年度末は323,156千円）となり、13,825千円減少いたしました。長期借入金が増加したことが大きな要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ82,814千円増加し、2,466,457千円となりました。自己資本比率は39.8%から33.4%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月24日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,643,023	1,910,838
受取手形及び売掛金	2,761,566	3,594,147
電子記録債権	155,741	141,276
有価証券	10,000	10,000
商品	835,872	969,724
その他	77,587	98,266
貸倒引当金	△3,401	△4,417
流動資産合計	5,480,389	6,719,836
固定資産		
有形固定資産	50,355	48,132
無形固定資産	119,450	228,786
投資その他の資産		
投資有価証券	33,859	24,983
その他	189,296	186,809
貸倒引当金	△74,122	△72,311
投資その他の資産合計	149,033	139,481
固定資産合計	318,839	416,399
資産合計	5,799,229	7,136,236
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,555,615	3,579,942
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	311,100	344,441
未払法人税等	21,635	54,458
賞与引当金	46,506	29,322
その他	157,572	152,283
流動負債合計	3,092,430	4,360,448
固定負債		
長期借入金	303,071	289,177
その他	20,085	20,154
固定負債合計	323,156	309,331
負債合計	3,415,586	4,669,779

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	299,831	300,381
資本剰余金	270,032	270,582
利益剰余金	1,768,179	1,843,458
自己株式	△32,053	△32,053
株主資本合計	2,305,990	2,382,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,728	2,508
その他の包括利益累計額合計	1,728	2,508
新株予約権	75,923	81,579
純資産合計	2,383,642	2,466,457
負債純資産合計	5,799,229	7,136,236

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年3月31日）
売上高	5,571,569	5,950,929
売上原価	4,849,059	5,158,142
売上総利益	722,509	792,787
販売費及び一般管理費	591,445	630,453
営業利益	131,064	162,333
営業外収益		
受取利息	367	151
広告料収入	300	300
受取手数料	158	182
その他	620	267
営業外収益合計	1,445	902
営業外費用		
支払利息	2,448	1,319
その他	6	-
営業外費用合計	2,455	1,319
経常利益	130,054	161,915
税金等調整前四半期純利益	130,054	161,915
法人税、住民税及び事業税	43,627	43,300
法人税等調整額	7,174	5,406
法人税等合計	50,801	48,707
四半期純利益	79,252	113,208
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,252	113,208

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日）
四半期純利益	79,252	113,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	253	779
その他の包括利益合計	253	779
四半期包括利益	79,505	113,987
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,505	113,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月23日開催の取締役会決議により、自己株式を88,100株取得いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が42,654千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が42,701千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,941,028	1,630,540	5,571,569	-	5,571,569	-	5,571,569
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,941,028	1,630,540	5,571,569	-	5,571,569	-	5,571,569
セグメント利益又は損失 (△)	99,681	34,717	134,398	△3,334	131,064	-	131,064

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,030,886	1,916,159	5,947,046	3,883	5,950,929	-	5,950,929
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,030,886	1,916,159	5,947,046	3,883	5,950,929	-	5,950,929
セグメント利益又は損失 (△)	129,345	37,800	167,145	△4,811	162,333	-	162,333

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。